

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

令和6年3月

事業所名           (福)富岳会 富岳裾野学園                園児数   41        回収数   35        割合   85  %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見／ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数にあった活動スペースは確保されていると感じる。</li> <li>・園庭がもう少し広いといいと感じる。</li> </ul> 【対応】 ・スペースの確保を維持していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく見ていただいた。</li> <li>・子ども一人ひとりに目が届くような先生の人数はちょうど良いと思う。</li> </ul> 【対応】 ・定数の職員は配置しています。 ・専門性については、研修等で研鑽していますが、より質の高いサービスを提供できるようにしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ロッカーや靴箱にも、わかりやすく目印がついていて、子どもがわかりやすくなっている。</li> <li>・教室内も子どもにわかりやすく配慮されている。</li> <li>・視覚的な支援の工夫もあると思う。</li> </ul> 【対応】 ・引き続き生活しやすい空間やわかりやすい情報伝達を進めていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔にされていると思う。</li> <li>・園庭が狭いのが残念。</li> </ul> 【対応】 ・清潔感を維持していきます。 ・園庭については、散歩などを上手に利用し近くの公園などで体をたくさん動かせるようにしていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談等があり安心している。</li> <li>・モニタリングや支援計画の説明も丁寧におこなってくれている。</li> </ul> 【対応】 ・今後も保護者のニーズをお聞きしながら、情報を共有し、わかりやすく説明をおこないます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	91%	0%	0%	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりに合わせて具体的に内容を設定してくれている。</li> <li>・本人の状況や保護者のニーズなどを主として、具体的に設定されている。</li> <li>・その都度、必要な支援をしていただいた。</li> </ul> 【対応】 ・お子様一人ひとりに合わせて具体的に進めていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズにあった支援をしてもらっている。</li> <li>・その都度、必要な支援をしていただいた。</li> </ul> 【対応】 ・必要に応じて随時見直しも実施していきます。

適切支援の提供	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画、造形、音楽、体育、和太鼓等、色々な活動が提供されている。</li> <li>・行事などもたくさんあり嬉しい。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムについて、行事でのこどもの様子をみていただいたり、面談時に報告をしています。</li> </ul>
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40%	11%	49%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのない子どもと一緒に活動することは少ないと思う。</li> <li>・希望をすれば、交流保育を実施してくれている。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ保育について、同じ法人内の保育園を上手に活用しながら、交流を多くもてるようにしていきます。</li> </ul>
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にしっかり説明されている。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> </ul>
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に面談があるので、確認でき助かる。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> </ul>
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	49%	23%	17%	11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングは行われていない。</li> <li>・ペアレントトレーニングも取り入れて欲しい。</li> <li>・相談すると良い方法を教えてくれるのでとても助かる。</li> <li>・保護者向けの講演会は行われている。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の要望や相談などは直接または電話等でも随時受け付けて話をしていくようにします。</li> </ul>
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳で細かく様子を伝えてもらっている。</li> <li>・定期的に面談があるので、共有することができる。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園児が多いため、直接話ができる機会は少ないですが、連絡帳や定期面談、オープン保育を希望された時にお伝えしていくようにします。</li> </ul>
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や連絡帳で相談させて頂いている。</li> <li>・迎えの時等にも伝えてくれている。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑬と同じです。</li> </ul>
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	86%	10%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが落ち着き、行事等も通常におこなわれるようになり、保護者同士の交流もできてよかった。</li> <li>・LINEを通して連絡はスムーズにとれる。今後集まってお話できる機会が増えると嬉しい。</li> </ul> <p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も感染症予防対策をしっかりとっておこなっていき、行事への参加や保育の見学等をおこなっていけるようにしていきます。休止していた、クラス懇談会も再開できるようにしていきます。</li> </ul>	

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	91%	3%	0%	6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりや一斉メール等で迅速に対応してくれている。</li> <li>・個別にも対応してくれている。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> </ul>
保護者への説明等	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園のため、直接言えなくても、連絡帳でやりとりできるので助かる。</li> <li>・連絡帳に詳しくいろいろなことを書いてもらえて</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡などは一斉メール等を利用して情報を伝達していきます。</li> </ul>
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	86%	8%	6%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログでどんな活動をしていたのか見るのがとても楽しみです。</li> <li>・ブログなどよく更新されていていつも見せていただいている。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁にブログを更新できるように努めていきます。</li> </ul>
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に同意がとられている。</li> <li>・特に問題点は感じていない。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> </ul>
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練がされているか。	86%	6%	0%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練しているので、子どもたちも含めもしもの時、対応できると思う。</li> <li>・マニュアル等の詳細はわからないところもある。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルは作成されていますが、保護者に詳細は伝えきれていないので、保護者の方にも周知して安心していただけるようにします。</li> </ul>
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行われていると思う。</li> <li>・避難訓練をしたと連絡帳でも伝えてくれるので、しているとわかる。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していきます。</li> </ul>
満足度	㉒	子どもは通園を楽しみにしているか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく通園してくれていると思う。</li> <li>・楽しそうに通えている。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく通園できるよう支援もしっかり継続していきます。</li> </ul>
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足しています。</li> <li>・こどもの成長を感じるので、安心している。</li> </ul> 【対応】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も満足していただけるよう継続していきます。</li> </ul>

# 事業所における自己評価結果(公表)

令和6年3月

事業所名 (福)富岳会 富岳裾野学園 職員13名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・支援室の広さは十分である。
	②	職員配置数は適切である	62%	38%	・基準上は満たしているが、お休みの職員がいると足りない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・視覚的支援を取り入れて、園児が理解しやすいようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	85%	15%	・園児が清潔に過ごせるように、毎日の清掃は心掛けている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	77%	23%	・全職員が周知はできていない。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	92%	8%	・保護者の方にも評価をお願いしている。
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	85%	15%	・ふがく光やホームページを活用している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	・第三者評価は実施できていない。
	⑨	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・研修の機会が定期的に多く設けられている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・保護者との面談や相談に対応している。 ・支援計画に反映されている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・遠城寺式やMEPA-R等を使用している。 ・就学に向けた発達検査を実施できるように、職員が技術を習得していく必要がある。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・保護者ニーズを聞いて、具体的な内容でつくられている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援計画に沿っておこなっている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	92%	8%	・クラス会議の時間を定期的に作れるようにしたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	85%	15%	・日課表、週案等を活用している。

適切な支援の提供	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・基本的な生活習慣の項目については、個を重視し、社会性の項目については、集団を重視できるようにしている。
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	92%	8%	・朝礼で全クラスの保育内容を発表し周知できるようにしている。 ・各クラスでその日の内容を細かく打ち合わせをしている。
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	92%	8%	・終礼にてクラスごと子どもの様子について報告している。 ・クラス担当全員での振り返りは、勤務の都合で難しい日もある。
	⑬	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	92%	8%	・細かな点も記録をとり、職員間で共有している。
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・定期的に行っている。
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・クラス担当の意見を取り入れながら、児発管が参加している。
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	85%	15%	・連携とるようにしている。
	⑰	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	85%	15%	・書類等で細かく情報共有している。 ・訪問、来園等で話し合いを設けている。
	⑱	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	85%	15%	・同上。
	⑲	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	85%	15%	・職員の交換研修がある。 ・県知協等の研修にも参加している。
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	54%	46%	・同じ法人内の保育園との交流があるが、随時ではない。 ・上手に法人内の保育園を利用し、よりインクルーシブ保育を充実できるようにしていきたい。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	85%	15%	・参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・毎日、連絡帳を活用している。 ・定期的に個人面談も実施している。 ・要望があれば、随時面談も実施している。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	62%	38%	・ペアレントトレーニングの実施はできていない。(親と職員の役割の関係から)
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・運営規程の説明はないが、いつでも閲覧可能にしている。 ・利用者負担については、毎年重要事項説明書で説明をしている。変更がある場合は、書面にてその都度承諾も得ている。
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・作成し、保護者の方にも説明をしている。 ・提案をして、保護者の方に伝えている。
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	92%	8%	・相談があれば面談を実施している。 ・声をあげられない保護者支援も今後必要と感じる。
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	77%	23%	・コロナが緩和されてきているので、少しずつ交流の場を提供できるようにしている。

保護者への説明責任等	③④	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・面談や個人相談等がある。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月1回必ずおたよりがでる。 ・緊急時にもその都度、おたよりやメールにて情報を発信している。
	③⑥	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・十分に気を付けている。 ・毎年全職員が個人情報取り扱いの研修もうけている。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・配慮している。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	85%	15%	・コロナも緩和されてきたので、行事等は一般公開も実施する予定である。
非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・マニュアルの見直しをおこない、社会情勢にあった最新の物を活用できるようにしていく。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・月に2回以上避難訓練がある。
	④⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	92%	8%	・年度初めに必ず確認をしている。また、年度途中でも、状況に応じて対応している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・朝礼にて、栄養士より献立を発表し、アレルギー食がある場合も発表している。 ・栄養士と連携し、メニューなど気を付けている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	85%	15%	・記録に残したり、終礼等で報告している。 ・予防策について、日頃から話し合いを定期的に設ける必要がある。
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・職員同士で情報を共有している。 ・研修も実施している。
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・車椅子やバギーが必要なお子さんがいる場合は、支援計画に記載しベルトの使用の同意を保護者に得ている。